

蘆花会通信

第 4 号

2022 年(令和 4 年)

12 月 15 日

特定 非 営 利 活 動 法 人

蘆 花 会

発行人 佐久間 保明
編集人 布川 純子
石井 貴子

https://www.rokakai.com/

蘆花忌の集い三年ぶりに再開

本年の蘆花忌の集いは、予定どおり九月十八日に三年ぶりの開催が復活しました。講師には相模女子大学名誉教授の高橋広満氏を迎え、「蘆花自伝小説における元号の力——「富士」を中心に」と題する約一時間半の講演会が行われました。恒春園での参加は十数人でしたが、オンラインでも数人の参加がありました。天候にも恵まれて、久しぶりに中身の濃い話と熱心な聴講者の参加により成功裡に終了しました。

見解が示されるだけでなく、この作品に特有の発見がなされ、意質疑応答も交えて蘆花の読者には意義深いものが得られました。

高橋氏は特に蘆花研究の専門家ではありません。それゆえ昨年の秋に講演の依頼を受けたのち急遽蘆花全集を求め、「富士」はもとより「黒い眼と茶色の目」をはじめ他の作品も読み込んで備えたそうです。今回の成功はその成果であり、主催者としてあらためて感謝する次第です。

一方依然として新型ウィルスの脅威がやみません。一時的な鎮静化と見られる瞬間

間もありましたが、まだ油断は禁物のようです。それにもまして、二月下旬以来のロシアによるウクライナ侵攻が収まりません。戦争によって悲惨な人々がますますばかりという現状がつきつけられています。八月にはこの現状を嘆いていたはずのゴルバチョフ元大統領が亡くなりました。思えば彼が来日した当時のことが印象的でした。一九九一年四月十七日に彼が衆議院で演説したこと(前号での日付を訂正)です。



ゴルバチョフ元大統領

彼は徳富蘆花がトルストに会ったことをあげて演説を締めくくり、拍手のなか降壇しました。ノーベル平和賞を受賞しながらも彼のロシア国内での評価が低いことが惜しまれます。

わが国の方でも、当の国会議員がトルストイや蘆花についてどれほどの理解を持っているかおぼつかないものがあります。トルストイにはナポレオン戦争を題材にした「戦争と平和」という世界文学があります。大部な長編ですが多くの政治家に読んでほしいものです。



蘆花、トルストイと娘アレクサンドリア

来たる愛子忌の集いでは湯浅健夫氏の談話を企画しました。氏は豊かな経験と多士済々の親族に恵まれた人物です。蘆花文学に親しみ蘆花会へも参加されております。温かく人情味あふれる語り口は出席者をなごませることになるでしょう。

(佐久間保明)

二〇二二年度中間事業報告

1、イベント

① 没後九十五年蘆花忌

9 月 17 日(土) 13 時～15 時

講師：高橋広満氏(相模女子大学名誉教授)

演題：「蘆花自伝小説における元号の力——「富士」を中心に——

会場：恒春園内梅花書屋とオンラインのハイブリッド開催

参加者：会場 25 名・

オンライン 10 名



蘆花忌 梅花書屋での講演会

② 没後七十六年愛子忌

2 月 18 日(土) 13 時～15 時
湯浅健夫氏(縁者)講演予定

2、蘆花記念館の運営

(整理・展示など)協力に
関するもの

① 企画展

「蘆花さんちの動物コレクション」担当：石井
9 月 17 日～11 月 26 日「徳富蘆花と永井荷風をつなぐもの」担当：峯岸
11 月 27 日～2022 年 3 月 予定

② 恒春園ガイドツアー

毎月(7・8 月除く)

第二日曜日 14 時

担当：仁藤・小林

4 月 10 日 4 名、5 月 8 日 5 名

6 月 12 日 5 名、9 月 11 日 6 名

10 月 9 日 5 名、11 月 13 日 2 名

③ 第 29・30 回蘆花文学セミナー(蘆花恒春園サービスセンター主催)

毎月第二土曜日 14 時～16 時、2022 年 3 月まで
テーマ：『みみずのたはこ』を読む
会場：恒春園内愛子夫人居室とオンラインのハイブリッド開催

蘆花文学セミナー

講師：布川純子(NPO 法人蘆花会事務局長、神奈川工科大学・成蹊大学非常勤講師)

第 29 回
5 月 7 日 12 名、5 月 14 日 12 名
6 月 11 日 9 名、7 月 9 日 12 名
8 月 13 日 11 名、9 月 10 日 12 名
※ 8 月はオンラインのみ

第 30 回
10 月 8 日 12 名、11 月 12 日 12 名

3、普及啓発活動

① 熊本県立大学「徳富蘆花サミット」もつと知ろう徳富

蘆花——11 月 20 日(日)

平石岳(皇學館大学助教)ほか登壇

② 大田区立山王草堂記念館・勝海舟生誕二百年記念事業に向けて資料調査協力(石井)

新刊書紹介

『徳富蘆花——天性に順ひ、眼光に依頼せよ——』

半藤英明著

ミネルヴァ日本評伝選
2022 年 9 月 10 日刊

事務局より

～正会員・賛助会員募集～

【入会金・年会費】

正会員：各 1,000 円

賛助会員：各 500 円

【振込先】

三菱 UFJ 銀行 王子駅前支店
特定非営利活動法人蘆花会
普通 0274264